

# おきなわの いろ 彩鳥 どり

四季を告げる野鳥は沖縄の美しい自然そのもの。  
希少な存在になってしまったものも少なくありません。  
いつまでも守り続けたい生命の輝きがここにあります。

日本各地に留鳥として分布する  
オオコノハズク (*Otus lempiji*) の亜種です。  
全長 25cm ほどで、長めの耳羽と、  
赤みを帯びた橙色の眼が特徴的です。  
主に森林やその林縁部に生息し、  
樹洞や林床の窪みなどで繁殖します。

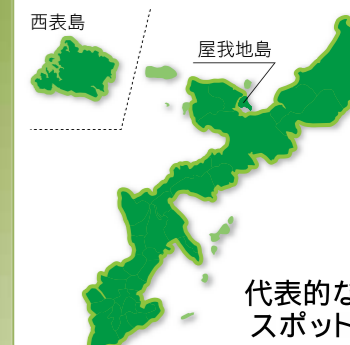
夜行性で、夜になると  
林道沿いの枝に留まっている姿を見かけ、  
ウオツウオツウオツウオニなどと鳴きます。

夜の森で活動するフクロウの仲間

## 「リュウキュウオオコノハズク」

フクロウ目フクロウ科 *Otus lempiji pryeri*  
レッドデータ沖縄「絶滅危惧Ⅱ類」 環境省レッドリスト「絶滅危惧Ⅱ類」

沖縄本島、屋我地島、西表島の森林



Photographer  
小原 祐二・Obara Yuji

1968年鹿児島県生まれ。琉球大学生物学科卒業後、沖縄で環境調査に従事。  
ウェブサイトおきなわカエル商會を運営、沖縄の自然を紹介している。  
HP <http://www.okinawa-kaeru.net>